

【取組分野・活動実績シート】		
1. 基本情報		
大学名・学部名・学科名	東京電機大学未来科学部建築学科	
研究室 代表者名	地域・建築デザイン研究室 ／ 菅原大輔准教授	
研究室代表者の専門分野	建築設計、地域計画	
研究室の学生数	40	
活動可能エリア	全国	
関連ホームページ	名称	URL
	SUGAWARADAISUKE建築事務所株式会社 ホームページ	https://sugawaradaisuke.com/
2. 地域課題解決に向けた取組分野		
● 観光	(地域内の景観分析と回遊性の研究 → 観光マップの作製 ／ 観光資源見える化ワークショップ、まちの資源マップ作製)	
移住・定住・関係人口	()	
農林水産業	()	
起業支援	()	
● まちなか再生	(地域交流・交通拠点の開発に関する基本計画、設計、社会実験／公地域内の公共h施設の規模算定と配置計画／公共施設の住民ワークショップの企画と運営)	
集落再生	()	
環境	()	
その他	()	
3. 活動実績		
【活動実績①】 (1)活動地 ：神奈川県 中井町 (2)活動内容:生涯学習施設と地域資源発見ワークショップの企画と運営 (3)活動による成果: 要望の洗い出し、模型検討、住民共有と設計に反映する要素抽出		
【活動実績②】 (1)活動地 ：東京都調布市 (2)活動内容:書籍書籍『地域の場を設計して運営する』(学芸出版社)の事業者10名による講演会の企画・運営・記録・配信 (3)活動による成果:記録動画の配信とSNSによる広報で、新時代の地域で生業をもって生きる現在形を発信。		
【活動実績③】 (1)活動地 ： (2)活動内容: (3)活動による成果:		
4. 研究室卒業生の地方での活動状況		
5. 希望する活動内容		
地域資源のリサーチ → 施設の新築改築再利用の基本計画と社会実験の実装、住民ワークショップまで一貫通貫して行う活動を希望。 また、基本計画と基本設計、実施設計を「公平性」の観点から別の設計者を立てる自治体がある。ただの場合、真意が継承されず、また、本当に計画を理解し優秀な能力がある設計者が1段階しかかわることができず、結果としては力のない設計者もこのプロセスに参画することで、施設として「自治体の不幸せ」につながる結果に終わること特に、1万人以下の自治体で散見される。 そこで、本研究室がかかわる本事業では、可能な限り地域計画と地域施設の専門集団であるSUGAWARADAISUKE建築事務所株式会社が何らかの形で関わるのが望ましいと考える。その場合は、竣工後の運営数年間もはワークショップなどの運営で研究室が並走していきたい。		